

製造業（DX取組）

県内取組事例

事業者：株式会社プティパ（所在地：宮崎市）
 資本金：2億1,500万円 業種：製造業 従業員数：40名

事業名：在庫管理システム導入によるDX推進事業

OCR



在庫管理システムによる作業時間短縮、ヒューマンエラーの削減

【概要】

・既存の基幹システムへハンディターミナルを使用し保管場所をシステム管理できる在庫管理システムを導入する

【主な取組】

・棚から製品・原料を出し入れする際にハンディターミナルを使用し、棚情報をリアルタイムに取得する

【事業の目標】

（定性目標）

・棚情報を作業員の感覚によるものから機械化し、作業時間短縮、ヒューマンエラーの削減を実現する

（定量目標）

・（情報セキュリティ対策（SECURITY ACTION宣言）について）

「SECURITY ACTION」の取得

・（労働生産性について）

作業効率の向上（年720時間の作業時間削減）、ヒューマンエラーの削減

【取組を行う背景】

・製品・原料を作業員の感覚で移動ラックに保管しており、原料準備・出荷準備をする際には、作業員の記憶を頼りに探し出していた。

・探し出すにはかなりの時間を要しており、また、似ている商品の取り違い、数量の間違い等ヒューマンエラーが発生していた。

【効果（成果）】

・効果① ハンディターミナルにより商品検索が可能となり、商品を探す時間が短縮された。毎日3時間程の効率化がはかれ、年720時間の労働力の削減が見込まれる。

・効果② ハンディターミナルで商品コードをスキャンすることにより、似ている商品の取り違いがなくなった。数量の確認も同時にできるので、ヒューマンエラーを削減できた。

【本事業終了後の展開・展望（今後3ヶ年程度の後年度負担等）】

・削減できた労働力を商品開発、製造現場へ移行し、売上拡大へつなげる
 ・既存システムとの連携を検討し、更なるDX推進へつなげる



←導入前は作業員がラックの中から商品を探し出していた



ハンディでスキャンし棚管理→



←棚それぞれをバーコードで管理

製品がどこにあるかシステム管理できるようになった